

請願第 2 3 号

宝塚市立幼稚園統廃合計画の慎重な検討を求める請願

提出年月日 令和 8 年（2 0 2 6 年）8 月 2 8 日

請 願 者

宝塚市立幼稚園会長会

会長 平 松 友 紀

宝塚市立宝塚幼稚園 P T A

保護者代表 玉 城 茜

小 島 豊一郎

田 中 貴 章

酒 井 洋 子

光 武 房 子

今 西 美 智

吉 田 世梨奈

西 村 梢

宝塚市立長尾幼稚園 P T A

保護者代表 高 橋 三 奈

宝塚市立末成幼稚園 P T A

保護者代表 藤 田 知 子

宝塚市立丸橋幼稚園 P T A

保護者代表 早 川 絵梨奈

宝塚市立西谷幼稚園 P T A

保護者代表 伊瀬知 彩 華

紹介議員 宝塚市議会議員 寺 本 早 苗

同 梶 川 みさお

同 お だ たか子

同 末 永 やよい

同 大 島 淡紅子

同 田 中 こ う

請願の趣旨

宝塚市は令和5年に施行されたこども基本法の理念に基づいて、「こどもをまんやかに据えた社会づくり」を掲げ、インクルーシブ教育や探究的な学びの推進に取り組まれています。こども基本法が掲げる「すべての子どもの最善の利益」の理念は、幼稚園教育要領に示される幼稚園教育の基本と深く通じるものです。

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を担う重要なものであり、幼稚園教育は、保育、適当な環境の提供、心身の発達への助長という目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものとされています。

私たちは、その理念を実現するためには、就学前教育から子どもの最善の利益を第一に考えた教育環境を維持・発展することが重要であると考えます。

市立幼稚園では、一人ひとりの子どもの発達や個性を尊重しながら、子ども自身が遊びや生活の中で課題を見つけ、自ら考え、友だちと協力しながら学びを深める教育が日々実践されています。また、支援を必要とする子どもを受け入れ、多様な子どもたちが共に育ち合う環境づくりや、保育所・小学校・中学校との連携など、公教育だからこそ継続して担うことのできる役割があります。

さらに、市立幼稚園は、すべての子どもが安心して楽しく通うことのできる地域のセーフティネットとしての役割を担っており、私立幼稚園では十分に対応が難しい子どもや家庭への継続的な支援を、公教育として保障しています。

現在進められている第3次宝塚市立幼稚園統廃合計画については、市立幼稚園が果たしている教育的役割や地域における機能、支援を必要とする子どもたちへの影響などについて十分な検証が行われたとは言い難く、多くの保護者や地域住民が不安を抱

いています。

教育施設は、一度廃止すると再び整備することは容易ではありません。一方で、社会情勢や教育的効果を十分に検証した上で将来の在り方を判断することは可能です。

将来に禍根を残さないためにも、子どもの最善の利益を最優先とし、公立幼児教育の在り方について慎重に検討していただくようお願いいたします。

請願の項目

- 1 市立幼稚園の統廃合については、現行の「宝塚市立幼稚園の適正規模及び適正配置に関する基本方針」及び「第3次宝塚市立幼稚園統廃合計画」を一旦立ち止まって検証し、社会情勢や保護者ニーズの変化、宝塚市が掲げる「こどもをまんやかに据えた社会づくり」やインクルーシブ教育、探究的な学びの理念、並びにこども基本法の趣旨をふまえ、必要な見直しを行うこと。
- 2 市立幼稚園の統廃合に当たっては、園児数のみを判断基準とするのではなく、市立幼稚園が果たしている教育的役割、支援を必要とする子どもの受入れ、地域との連携などを総合的に評価した上で、慎重に判断すること。
- 3 閉園を判断する前に、対象園において3年保育の試行など園児数減少への対策を実施し、その効果を十分に検証すること。
- 4 支援を必要とする子どもを含め、すべての子どもの教育機会が保障されるよう、受入体制、通園環境及び保護者負担について十分な検証を行い、必要な措置を講じること。
- 5 市立幼稚園の統廃合の検討に当たっては、保護者、地域住民及び関係者への丁寧な説明と十分な意見交換を行い、現場の意見を政策決定に反映すること。